



平成31年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成31年2月13日

上場会社名 株式会社大運 上場取引所 東
 コード番号 9363 URL http://www.daiunex.co.jp
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩崎 雅信
 問合せ先責任者(役職名) 管理部課長 (氏名) 蜂須賀 伸子 (TEL) 06-6120-2001
 四半期報告書提出予定日 平成31年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無 ()

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第3四半期の業績(平成30年4月1日～平成30年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収入		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	5,623	9.2	42	26.4	115	△21.1	△25	—
30年3月期第3四半期	5,150	5.2	33	△67.0	146	△19.8	139	△38.8
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
31年3月期第3四半期	△4.10		—					
30年3月期第3四半期	22.45		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第3四半期	4,716	2,422	51.4
30年3月期	5,566	2,597	46.7

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 2,422百万円 30年3月期 2,597百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
31年3月期	—	0.00	—		
31年3月期(予想)				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収入		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,200	4.9	80	107.1	200	14.4	120	△19.4	19.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

31年3月期3Q	6,228,039株	30年3月期	6,228,039株
----------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数

31年3月期3Q	12,831株	30年3月期	12,443株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

31年3月期3Q	6,215,414株	30年3月期3Q	6,216,362株
----------	------------	----------	------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

●本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間(平成30年4月1日～平成30年12月31日)におけるわが国経済は、夏場の度重なる自然災害の影響による一時的な落ち込みが見られましたが、雇用・所得環境の改善等により緩やかな回復基調となりました。一方、中国の景気減速や、米中貿易摩擦による世界経済の下振れリスク等の不透明感も払拭できない状況にあります。

このような状況の中、当社におきましても、積極的な営業展開により営業収入は堅調に推移しております。当第3四半期累計期間(平成30年4月1日～平成30年12月31日)における当社の業績につきましては、営業収入の堅調な推移により原価率の上昇はあるものの、営業利益は前年同四半期累計期間比では増加しております。

しかしながら、投資有価証券売却益の減少、法人税等の増加、また投資有価証券評価損の特別損失計上から、四半期純利益は大きく減少しております。

この結果、当第3四半期累計期間における営業収入は5,623,918千円で、前年同四半期累計期間と比べ473,377千円(9.2%)の増収となりました。営業利益は42,790千円で、前年同四半期累計期間と比べ8,932千円(26.4%)の増益、経常利益は115,287千円で、前年同四半期累計期間と比べ30,758千円(21.1%)の減益となりました。また、四半期純損失は25,469千円となり、前年同四半期累計期間と比べ165,023千円(前年同四半期累計期間は139,554千円の利益)の減益となりました。

セグメントごとの経営成績は、次の通りであります。

①港湾運送事業

当社の主要セグメントである当セグメントにおきましては、好調な受注に支えられ、堅調に推移しております、セグメント利益(営業利益)は回復傾向にあります。

この結果、営業収入(セグメント間の内部売上高又は振替高を除く)は、5,431,617千円で、前年同四半期累計期間と比べ、494,477千円(10.0%)の増収となり、全セグメントの96.6%を占めております。

セグメント利益(営業利益)は332,203千円で、前年同四半期累計期間と比べ138千円(0.0%)の増益となりました。

②自動車運送事業

当セグメントにおきましては、収益的には厳しい状況が続きました。

この結果、営業収入(セグメント間の内部売上高又は振替高を除く)は、188,040千円で、前年同四半期累計期間と比べ、20,932千円(10.0%)の減収となり、全セグメントの3.3%を占めております。

セグメント損失(営業損失)は、28,636千円で、前年同四半期累計期間と比べ、6,809千円(前年同四半期累計期間は△35,445千円)の増益となりました。

③その他

当セグメントにおきましては、前年同四半期累計期間と比べ、厳しい状況が続きました。

この結果、営業収入は4,260千円で、前年同四半期累計期間と比べ166千円(3.8%)の減収となり、全セグメントの0.1%を占めております。

セグメント利益(営業利益)は4,192千円で、前年同四半期累計期間と比べ139千円(3.2%)の減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における流動資産は、前事業年度末より508,521千円減少して2,579,410千円となりました。これは現金及び預金の減少608,819千円、立替金の増加145,753千円等によるものであります。

固定資産は、前事業年度末より339,603千円減少して2,135,596千円となりました。これは投資有価証券の減少166,622千円、積立保険金の減少80,022千円等によるものであります。

繰延資産は、前事業年度末より1,725千円減少して1,602千円となりました。これは社債発行費の減少によるものであります。

流動負債は、前事業年度末より231,133千円減少して1,438,505千円となりました。1年内返済予定の長期借入金の減少119,701千円、1年内償還予定の社債の減少34,100千円等によるものであります。

固定負債は、前事業年度末より444,123千円減少して855,556千円となりました。これは長期借入金の減少403,377千円、社債の減少47,050千円等によるものであります。

純資産は、前事業年度末より174,593千円減少して2,422,548千円となりました。これは配当による利益剰余金の減少62,155千円、その他有価証券評価差額金の減少86,813千円等によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期の通期業績予想につきましては、不確定要因が多く、平成30年11月9日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました業績予想を変更しておりません。

業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成30年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,816,745	1,207,926
受取手形	3,182	1,595
営業未収入金	831,736	784,509
立替金	395,427	541,181
その他	45,687	50,036
貸倒引当金	△4,848	△5,837
流動資産合計	3,087,932	2,579,410
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	144,362	136,052
構築物(純額)	3,258	3,039
機械及び装置(純額)	2,050	1,846
車両運搬具(純額)	66,866	75,905
工具、器具及び備品(純額)	11,638	10,215
土地	576,183	576,183
リース資産(純額)	30,025	34,345
有形固定資産合計	834,385	837,587
無形固定資産		
のれん	251,379	230,431
その他	80,277	68,760
無形固定資産合計	331,656	299,191
投資その他の資産		
投資有価証券	916,338	749,716
繰延税金資産	22,320	22,320
差入保証金	99,102	93,953
その他	545,714	405,846
貸倒引当金	△274,317	△273,019
投資その他の資産合計	1,309,158	998,817
固定資産合計	2,475,199	2,135,596
繰延資産		
社債発行費	3,328	1,602
繰延資産合計	3,328	1,602
資産合計	5,566,460	4,716,610

(単位：千円)

	前事業年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成30年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	40,093	42,405
営業未払金	601,481	626,231
1年内償還予定の社債	101,800	67,700
1年内返済予定の長期借入金	681,012	561,311
未払金	76,537	38,511
未払法人税等	65,187	5,362
賞与引当金	43,680	11,200
その他	59,847	85,784
流動負債合計	1,669,638	1,438,505
固定負債		
社債	73,400	26,350
長期借入金	983,749	580,372
退職給付引当金	197,109	198,843
その他	45,421	49,991
固定負債合計	1,299,679	855,556
負債合計	2,969,318	2,294,062
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,394,398	2,394,398
資本剰余金		
資本準備金	52,473	52,473
資本剰余金合計	52,473	52,473
利益剰余金		
利益準備金	6,216	12,432
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	344,725	250,884
利益剰余金合計	350,942	263,316
自己株式	△11,621	△11,775
株主資本合計	2,786,193	2,698,413
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△189,051	△275,865
評価・換算差額等合計	△189,051	△275,865
純資産合計	2,597,141	2,422,548
負債純資産合計	5,566,460	4,716,610

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
営業収入	5,150,540	5,623,918
営業原価	4,832,320	5,295,188
営業総利益	318,220	328,730
販売費及び一般管理費	284,362	285,939
営業利益	33,857	42,790
営業外収益		
受取利息	17	48
受取配当金	19,333	23,615
受取家賃	58,188	53,178
受取手数料	15,950	6,091
受取補償金	20,000	—
雑収入	40,944	32,923
営業外収益合計	154,433	115,856
営業外費用		
支払利息	15,407	10,747
支払手数料	12,223	3,456
社債発行費償却	2,728	1,725
賃貸費用	9,111	9,003
保険解約損	—	14,500
雑損失	2,774	3,925
営業外費用合計	42,245	43,359
経常利益	146,046	115,287
特別利益		
固定資産売却益	6,078	6,413
投資有価証券売却益	43,439	5,164
特別利益合計	49,518	11,578
特別損失		
固定資産除却損	80	26
投資有価証券売却損	23,481	14,914
投資有価証券評価損	—	93,433
その他	—	2,494
特別損失合計	23,561	110,869
税引前四半期純利益	172,003	15,996
法人税、住民税及び事業税	32,449	41,466
法人税等合計	32,449	41,466
四半期純利益	139,554	△25,469

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期累計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。